

Elazzio

SEAT COVER



DAIHATSU
CAST
ACTIVA / STYLE / SPORT

TOYOTA
PIXIS JOY
C / F / S

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

…> 03-04

シートカバー装着前の注意事項

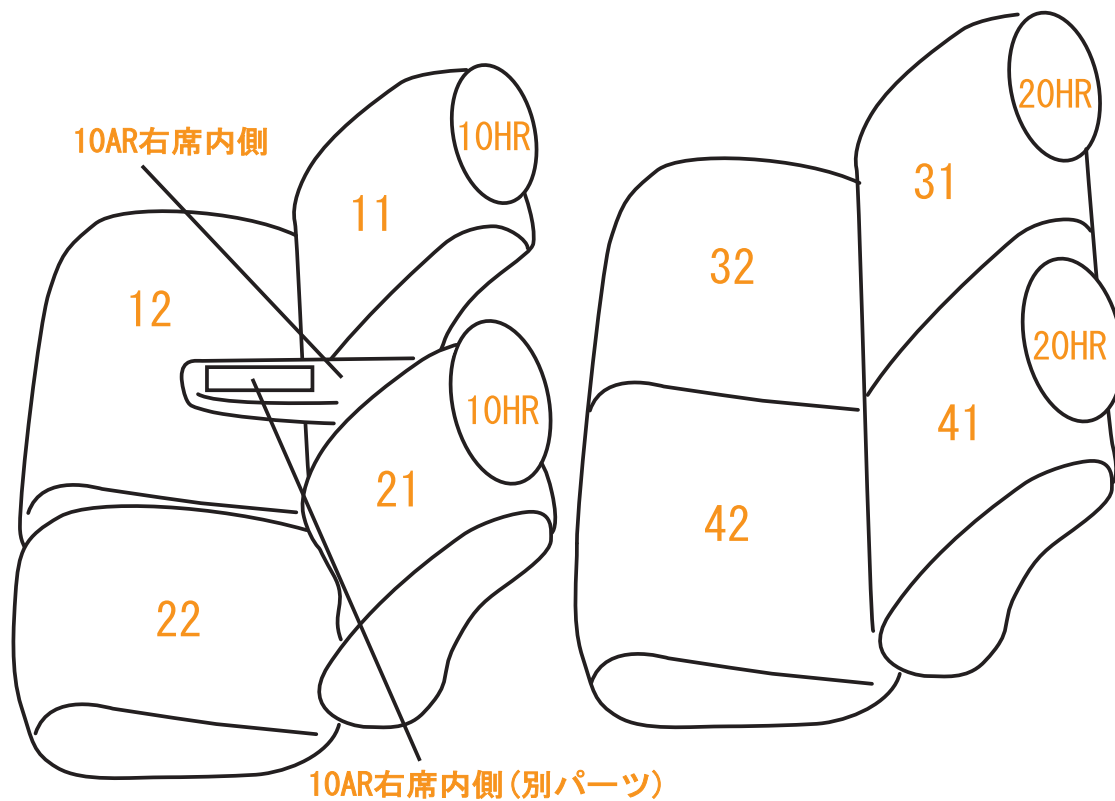
…> 05-20

シートカバーの装着方法

…> 21-22

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチセット(14mm)
- ② プラスドライバー
- ③ クラッツィオ 専用 ヘラ (付属)

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せず）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製糸を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製糸が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラツィオ・アルカンターラセクション)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされますと、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輻への損傷、車輻の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

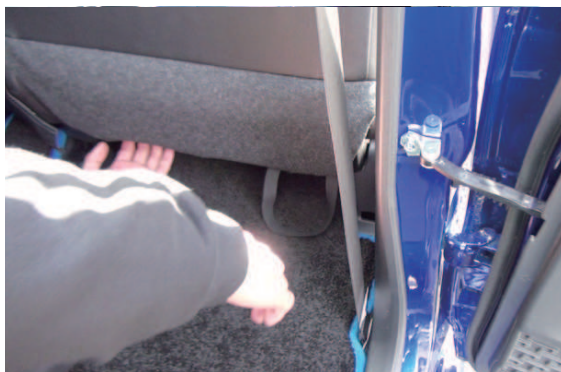
〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1 列目運転席座面の装着方法

※主にシートリフター装備車で説明しています



- 1 シート背面下部をおおっている生地をめくりあげます。シート裏側にゴムで固定されていますので、外せるゴムは取り外しておきます。（外せないゴムは無理に外さずそのままにしておいて下さい。）



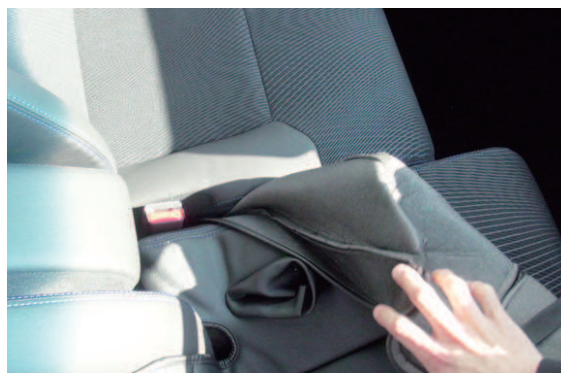
- 4 シート側面にあるレバー類を、カバーの加工穴に通しておきます。



- 2 カバーを裏返した状態で、シートのラインに合わせます。



- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



- 3 シート内側からかぶせていきます。



- 6 4番で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。※シートヒーター、サイドエアバック装備車用は図の様に切り込みの加工がされているので配線をかわしながら生地を引き出して下さい。



7 カバー側面の生地をシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。ヘラ等を使うと入れ込みやすくなります。



10 内側面のマジックテープも、5ページ6番で引き出した生地に付いているマジックテープで固定します。



8 5ページ3番で通しておいたレバーを、カバーの加工穴部分から抜き出します。穴は少し小さめに開けているので、レバーの軸部分を抜き出す際は、慎重に行ってください。



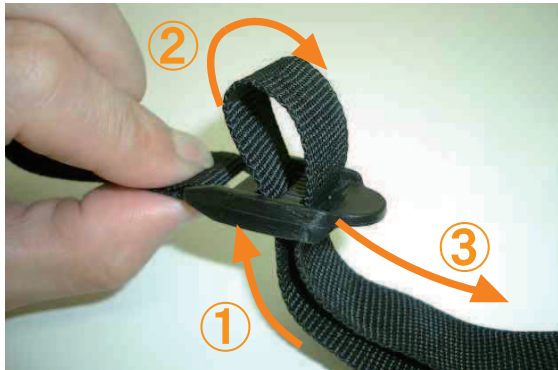
11 カバー前側に付いているベルトを底面を通して後ろ側に引き出します（2本）。ベルトは金属バーと座面の間を通します。



9 シートの背面です。外側面のマジックテープを、5ページ6番で引き出した生地に付いているマジックテープで固定します。



12 引き出したベルトを、カバーの後ろ側の生地に付いているバックルに通して固定します。



13 ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。ベルトは強く引くと、縫製糸が切れてベルトが抜けてしまう恐れがあるので、ご注意ください。



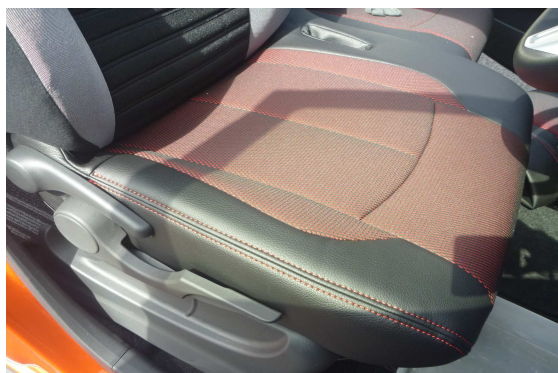
16 シートリフター未装備車の座面外側の図です。※シートリフター未装備車の場合も一部形状は異なりますが同様に装着します。



14 カバーをシートベルトのバックル部分の隙間に入れ込みます。



17 助手席側座面も一部形状は異なりますが同様に取り付けます。シート底部にトレーがある場合は、引き出してから作業を行ってください。



15 カバーのラインを整え、1列目運転席座面の完成です。

Point

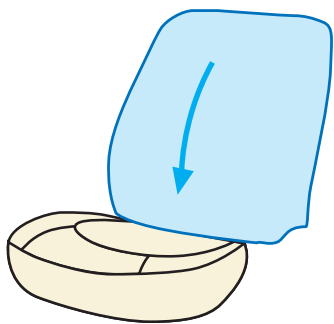


付属のシートカバー 取付補助ビニールの使用方法

背もたれ部分のシートカバーを装着する際、付属のビニールを使用するとシート本体とシートカバーの摩擦を軽減しスムーズに作業ができます。

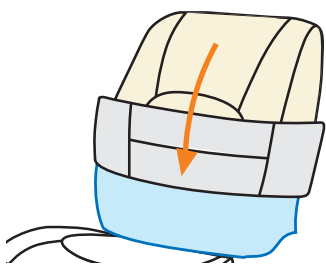
※ベーシックシリーズには取付補助ビニールは付属していません

①



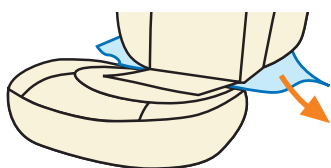
背もたれ部分のシートカバーを装着する前に、付属のビニールを被せます。この際、後で補助ビニールを引っ張り出しやすいように、カッターで両サイドに切り込みを入れておきます。

②

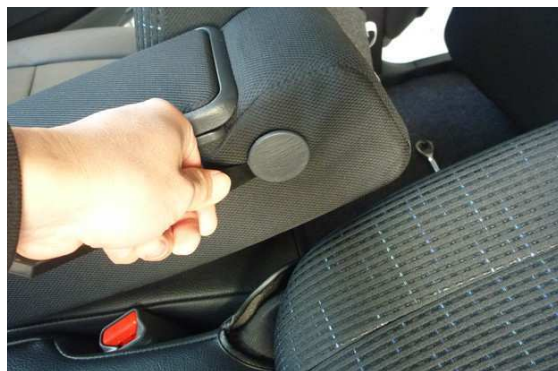


背もたれのシートカバーをシートラインに合わせてながら被せます。

③



シートカバーをしっかりと被せることが出来たら、ビニールを引っ張り取り外します。



- 1 始めにアームレストを外します。アームレストに付いているブラキャップを、ヘラなどを使用して外します。



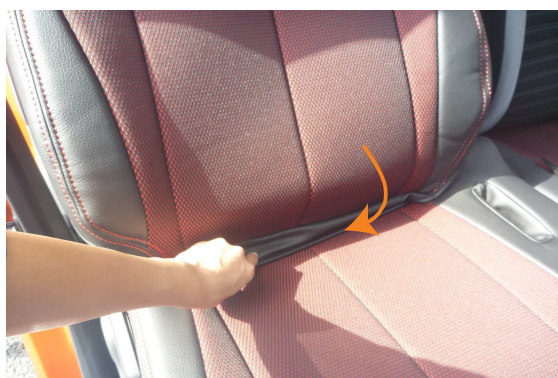
- 2 ブラキャップはツメで固定されています。ブラキャップの固定が固く外れない場合はヘラなどをブラキャップの根元に差し込み切れ目が2本見える間の部分を押し、ツメの固定が外れブラキャップが外れます。



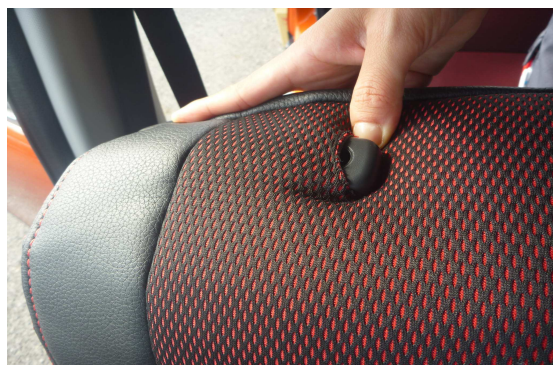
- 3 ブラキャップを外すと中にボルトがあります。ソケットレンチ(14mm)などを使用してボルトを外し、アームレストを背もたれから取り外します。



4 カバー側面についているファスナーを開いて、シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



5 プラフックのついた生地を、背もたれと座面の隙間に入れ込み、背面から引き出します。背もたれの角度を調整し、入れ込みやすい位置で行ってください。



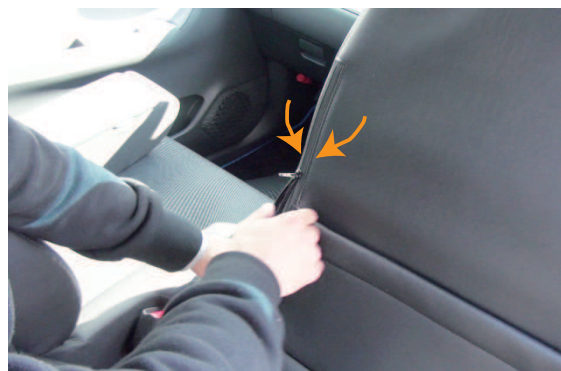
6 ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに、生地をしっかりと入れ込み、生地伸びを利用して台座を取り出します。



7 シート背面のシート生地を固定しているプラフックを取り外します。



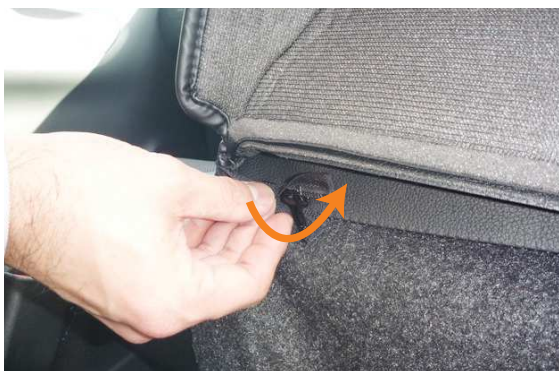
8 5番で引き出したプラフックと7番で取り外したプラフックをはめ込み固定します。この時めくり上げたシート生地を上引っ張りすぎない様、注意しながら作業を行ってください。※シートヒーター、サイドエアバック装備車用は配線をかかわす様にして取り付けて下さい。プラフックの詳細な固定方法については、18ページの「プラフックの固定」をご覧ください。



9 カバー側面のファスナーを、生地どうしを内へ寄せながら閉じます。



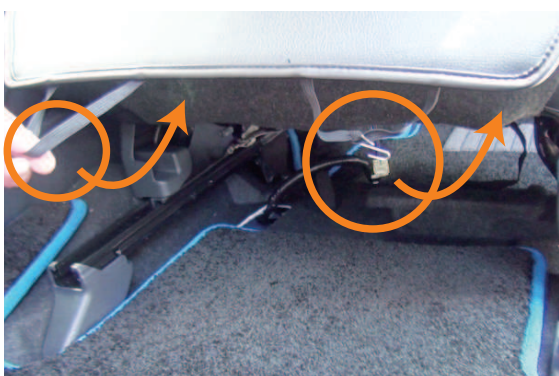
Step 3



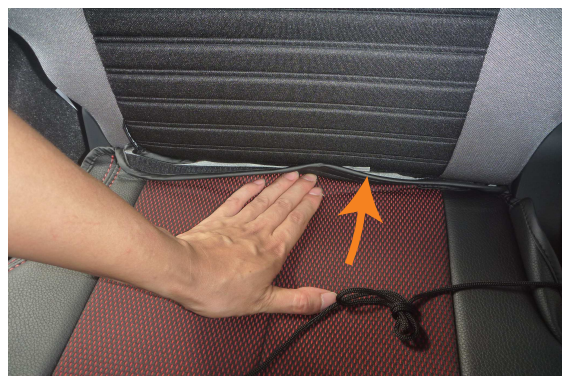
- 10 余ったファスナーは、カバーの内側へ入れ込みます。



- 1 カバーを裏返した状態で、シートのラインに合わせてかぶせます。



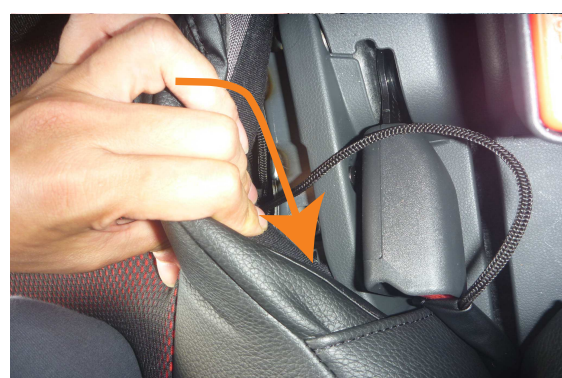
- 11 カバー背面下に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付け、座面底部の適当な箇所にフックを引っ掛けます。



- 2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、カバーの座面奥に付いているマジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。



- 12 カバーのラインを整え、1列目背もたれの完成です。
助手席も同様に取り付けます。
※コンビニフックは使用できません。



- 3 外側面のヒモを、写真の生地部分をめくり上げてシートとシートレールの隙間に通し、シート底面にヒモを引き出します。

2列目座面の装着方法



4 内側面のヒモも、外側同様シート生地をめくり上げて、シートとシートレールの隙間にヒモを通して、座面底面に引き出します。外側のヒモと内側のヒモを座面底面で結び固定します。



7 カバーのラインを整え、2列目座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。



5 通したヒモを引くとシートの下周りが絞り込まれます。絞り込んだヒモを緩まないように、座面底面で結びます。
※ヒモの詳しい結び方については19ページの「ヒモの結び方」をご覧ください。



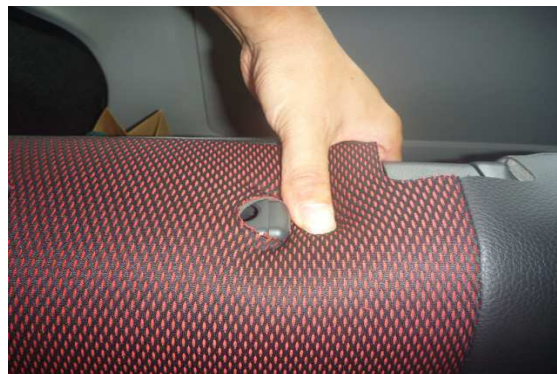
6 側面の生地は、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。

Step 4

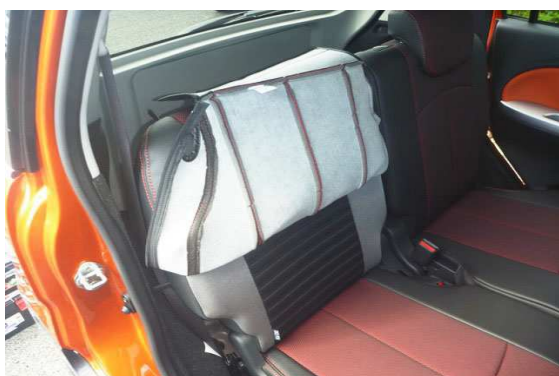
…> 2列目背もたれの装着方法



- 1 始めに荷室側にある、デッキボードを座面から取り外します。デッキボードを跳ね上げて、その状態でデッキボードを持ち上げるようにして取り外します。



- 4 ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに、生地をしっかりと入れ込み、生地伸びを利用して台座を取り出します。



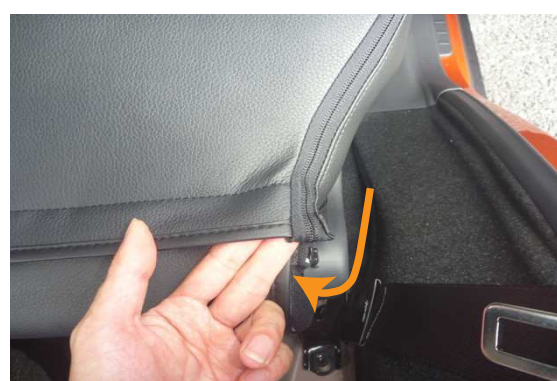
- 2 カバー側面に付いているファスナーを開き、カバーを半分ほど折り返して、シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 5 3番で引き出した生地と背もたれ背面の生地を、マジックテープで固定します。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、背面から引き出します。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行ってください。



- 6 カバー側面のファスナーを、生地どうしを内へ寄せながら閉じます。余ったファスナーは、カバーの内側へ入れ込みます。



- 7 リクライニングレバーに付いているネジを少し緩めます。



- 8 ネジを緩めると、レバーとシートの間隙が出来ますので、その隙間にカバーを入れ込みます。



- 9 荷室のデッキボードを元に戻し、カバーのラインを整え、2列目背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 5

…> アームレストの装着方法



- 1 始めにボックス部分を外します。フタを開けると中にネジが1本あります。ネジをドライバーを使用して外します。



- 2 ボックス裏にツメが引っかかっているため、図の矢印方向へスライドさせるようにしてボックスを外します。



- 3 アームレスト本体にカバーをかぶせます。カバーのファスナーを開けて、アームレストの先端まで生地が張る様に、ファスナー部分からカバーをかぶせます。



- 4 アームレストの付け根部分は、内側のみカバーをかぶせておきます。



- 5 2番で外したボックスのフタ裏に付いているプラスチックパーツを固定している2本のネジをドライバーで外し、プラスチックパーツを取り外します。



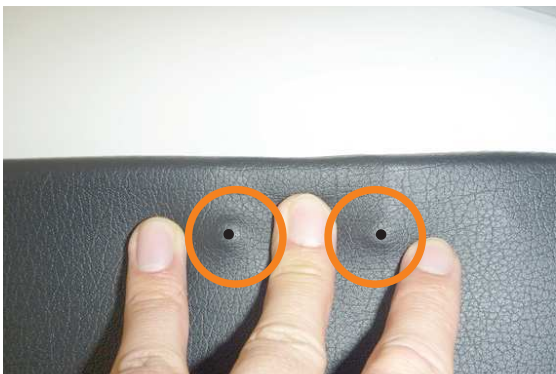
- 6 フタにカバーをかぶせます。丸で印を付けている生地の継ぎ目部分に負荷がかかりすぎると、生地が裂ける恐れがありますのでご注意ください。



7 フタ全体にカバーをかぶせます。



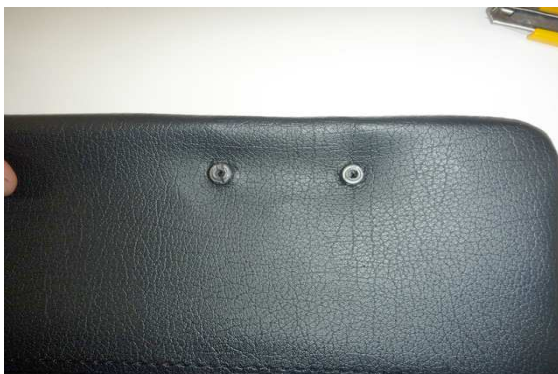
10 14ページ5番で外したプラスチックパーツを元に戻します。



8 ネジの位置に印を付けるなどして、付けた印部分を少し切り込みます。



11 ボックスを元に戻します。



9 切り込んだ部分からネジ穴を図のように取り出します。



12 ボックスをアームレスト側のカバーの生地を巻き込みながら、アームレストに戻します。この際ボックス裏のツメがしっかりかかるように意識して、元に戻して下さい。



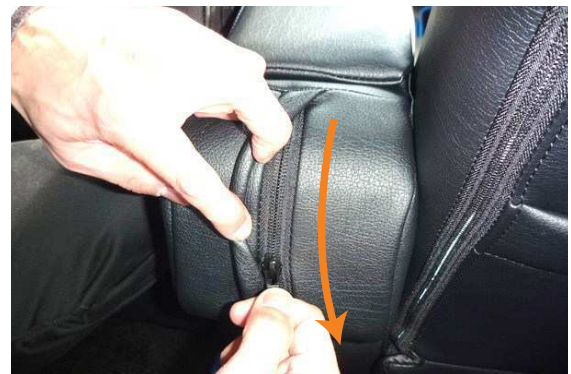
- 13 アームレストとボックス部分の隙間に、フタのカバーの端を、ヘラなどを使用して入れ込みます。点線で囲んだ生地の手前部分が全て見えなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



- 16 プラキャップを元の位置に取り付けます。



- 14 生地を全て入れ込むと図のように収まります。



- 17 アームレスト外側の生地を内へ寄せながらファスナーを慎重に閉じます。



- 15 アームレストをシートに戻します。



- 18 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。

Step 6

…> ヘッドレストの装着方法



- 1 1列目ヘッドレストです。平らなプラスチックが付いている方が前になります。カバーを図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。



- 4 カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。



- 2 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーを均等に引き下げて、ヘッドレスト全体にかぶせます。



- 5 2列目ヘッドレストは、前側から後ろ側へかぶせていきます。平らなプラスチックが付いている方が下になります。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。カバーはヘッドレストの裏でプラフックで固定します。詳しい固定方法は、18ページの「プラフックの固定」をご覧ください。



- 6 1列目と同様に、カバーをプラフックで固定して完成です。

…→ プラフックの固定



- 1 ヘッドレストやアームレスト等には、カギ状のプラフックと板状のプラフックを使用して固定するものがあります。
例：ヘッドレスト



- 2 プラフックの固定方法は、カギ状のプラフックに板状のプラフックを、生地ごと巻き込むようにはめ込み固定します。



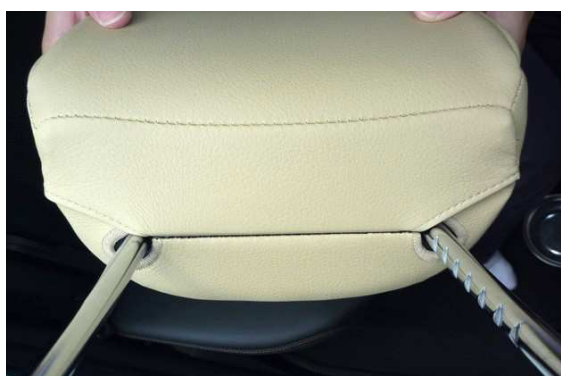
- 3 図は間違った固定方法です。板状のプラフックのみをカギ状のプラフックに引っ掛けるだけでは、しっかり固定出来ません。



- 4 正しくプラフックが固定されると、カバーの継ぎ目が図のようになります。



- 5 間違った固定をすると、カバーの継ぎ目に図のように板状のプラフックの縫製糸が見えてしまいます。

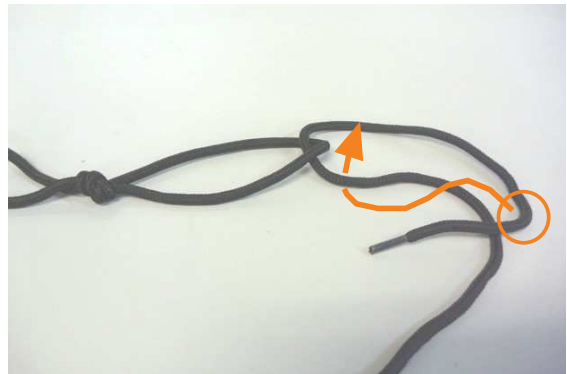


- 6 例で使用したヘッドレストの場合、このようになります。

…> ヒモの結び方



- 1 カバー両側面に付いているヒモの一方で、図のような輪を作ります。



- 4 ヒモの結び方は、引き絞ったヒモを（図の右側）輪のようにし、矢印部分をつまむようにして輪に通します。



- 2 1番で作った輪に、もう一方のヒモを通します。



- 5 通したヒモの○側を引っ張ると、ヒモが結ばれます。ヒモの先端を引っ張ると、ヒモは結ばれません。



- 3 通したヒモで、シート下回りを引き絞り、結び留めます。
ヒモを強く引っ張りすぎると切れる恐れがありますのでご注意ください。



- 6 正しくヒモを結び留めると、このようになります。この状態でヒモの先端を引っ張ると、ヒモが簡単にほどける結び方になります。



1列目完成図



2列目完成図





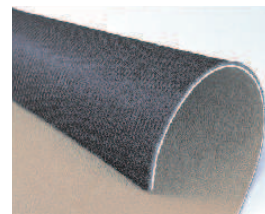
After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCLレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケツブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケツブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。
万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまうます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816